



☆家庭教育情報通信のバックナンバーは、盛岡市ホームページで読むことができます。(“家庭教育情報通信”で、サイト内検索)☆

ネットの使い方を、家族みんなで再確認しましょう！

みなさんのお子様は、ネットにつながる機器をお持ちですか？ スマホやタブレット、パソコン等が思い浮かびますが、一部のゲーム機や携帯音楽プレイヤーでもスマホと同じようにネットを利用することができます。また、お子様は、ネットをどのように利用しているのでしょうか？ どんな画面を見ているのでしょうか？

ネットは「悪いもの」ではありません。しかし、ネットを利用することによって、違法・有害情報に触れる、トラブルや事件・事故に巻き込まれる、犯罪の加害者側になる等の可能性があります。ネットへの依存も心配されます。これは子どもに限ったことではありません。危険から自分の身を守り、ほかの人も傷つけずに、上手にネットを使いこなすために、ルールや使い方を家族みんなで再確認しましょう。



★ 子どもたちがネットを安全に利用するために

1 現状を確認しましょう。

現在、どんな機器でどのようにネットを利用しているか確認しましょう。前号でも紹介しましたが、利用時間についても家族で確認してみませんか？

2 発達段階に応じた利用を！

ネットを安全に利用するためには、そのための知識と技術、情報モラルやコミュニケーション能力が必要です。新しい機器を購入する時期や機能の制限範囲などは、お子様の成長に合わせて考慮しましょう。また、初期設定は必ず保護者が行いましょう。

3 フィルタリングなどを設定しましょう。

フィルタリングを設定していますか？ 設定することにより、お子様が危険に遭遇するリスクを減らすことができます。特定のサイトやアプリだけ利用できるように、カスタマイズすることも可能です。お子様に頼まれたから設定を外すのではなく、発達段階に応じてゆるめましょう。また、セキュリティ対策のために、ウィルス対策も行いましょう。

4 家族みんなで話し合い、お子様と一緒にネット利用のルールを作りましょう。

ネットとリアルはつながっています。「良くないことだと分かっているけれど、ネットなら、ちょっとくらいなら大丈夫」は、幻想です。情報モラルも含めて、ネットを利用する上でのルールをお子様と一緒に作りましょう。また、食事中は利用しない、定期的に利用状況をチェックする等、機器の利用に関するルールも作りましょう。ルールを守れなかった場合についても、確認しておきましょう。

5 見守りましょう。

4のルールに、「困ったときは、すぐに家族に相談する」を入れますか？ 怒られるかも、迷惑をかけてしまうかもと、なかなか相談できないものです。ルールを作るとともに、ネット利用によるSOSを見逃さないように、しっかりと見守りましょう。お子様に機器の使い方を教えてもらう、便利なアプリを教え合うなど、普段からネット利用に関する会話をするとよいと思います。

失敗から学ぶこともたくさんありますが、失敗の程度が心配です。相談に対応できるように、保護者のみなさんのネットの知識やモラル等を高めるとともに、専門機関の確認もしておきましょう。



「未就学児の3割は、スマホ等の使い方を教えなくても、操作方法を自発的に修得している※」というデータを見かけました。子どもの力はすごいですね！ その力や可能性を存分に伸ばすことができるように、普段からお子様と顔を合わせて会話をし、しっかりと見守りましょう。

※ 未就学児等の ICT 利活用に係る保護者の意識に関する調査報告書（H27.7 総務省情報通信制作研究所）より